

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-07-02
事務事業名	備前病院診療事業		
事業開始年度	昭和32年4月		
総合計画	大項目	基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	病院事業
	コード	02-02-07-02	
問合せ先	根拠法令・要綱等	医療法 備前市国民健康保険条例	
	担当課(室)	市立備前病院 事務部	
	職・氏名	医事係長 森中 信行	
	電話	64-3385	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	病気を抱えている人、健康に不安のある人、けが、外傷を受けた人、急患
目的(何のために)	地域の中核的な病院として、高度医療を担い、住民のニーズに配慮した医療機関として診療部門を充実するとともに、公的病院としての役割も果たしていく。 住民の安心のために救急医療にも努めていく。
行政活動(どのような方法で)	医療スタッフの充実と能力の向上を図りながら、市民が安心して安全な医療が受けられる環境を整える。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	安心して安全な医療が受けられる環境整備と良質な医療を提供し患者数の増加を図る。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	入院患者数	人		30,602 人	29,223 人	27,390 人
	外来患者数	人		55,448 人	55,576 人	53,485 人
	直接事業費	千円		665,520	643,326	563,588
	人件費	千円		714,434	705,783	723,143
	事業費計			1,379,954	1,349,109	1,286,731
	国県支出金					
	市債	千円				
	その他収益的収入			1,379,954	1,349,109	1,286,731
	必要人員	人		98.00	99.40	96.93
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	入院患者数	説明	一般病床 = 100床			
	結果指標量	人		30,602	29,223	27,390
	対前年比	%		-	95.5%	93.7%
	活動コスト	円		794,376,044	788,826,185	772,642,000
単位当たりコスト	円		25,958	26,993	28,209	
結果指標	外来患者数	説明				
	結果指標量	人		55,448	55,576	53,485
	対前年比	%		-	100.2%	96.2%
	活動コスト	円		501,820,040	474,269,019	473,855,000
	単位当たりコスト	円		9,050	8,534	8,860

事業の成果						
成果指標名	入院・外来患者数の推移	式又は説明	1日平均患者数(入院・外来別) 入院 = 結果指標量/365日又は366日 外来 = 結果指標量/診療実日数			
成果指標量	17年度		18年度		19年度	
	入院: 83.8 人	外来: ### 人	入院: 80.1 人	外来: ### 人	入院: 74.8 人	外来: ### 人
対前年比	入院: 95.6%	外来: 99.8%	入院: 93.4%	外来: 99.8%	入院: 93.4%	外来: 83.6%
到達目標値	入院: 85.0 人 (稼働率85%) 外来: 220.0 人	到達目標年度	平成23年度			

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価 <A-E> <b>C</b>
	行政活動	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある
		事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である
		市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価 <A-E> <b>C</b>
	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	医療サービスの向上、医師の確保、医療機関相互の連携強化により、患者増を図るよう努力が必要。
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A-E> <b>D</b>
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	外科常勤医師の引き上げの影響が大きく、入院患者の減が著しい。

平成20年度の状況	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了
目標値	結果指標量 延入院患者数 = 28,548人 結果指標量 延外来患者数 = 57,135人
結果指標量	入院患者数 = 78人 / 1日 外来患者数 = 195人 / 1日

総合評価	
医師不足による影響で、中小規模の病院では診療科を減らしているところが多い。当院でも外科について常勤医がいなくなり、入院できなくなった。その影響で患者減が著しく経営が厳しくなっている。医師不足は当然続くと思えるので、医師にとって環境のいい病院をつくらなければならない。そのためには、規模の拡大が必要である。	評価区分 <A-E> <b>C</b>

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	病院の統合による規模拡大	早期	診療科目の増設、常勤医師の安定確保、救急医療レベル向上、患者増、収益増による安定的経営、効率的利用など多数

